



# 2009年度

## 社会活動報告書



**SHIMANO**

2009年度 社会活動報告書 発刊にあたって .....	3
企業価値の向上をめざして .....	4
こころ躍る製品を シマノを支えるひとづくり 内部統制の強化	
歓びの高揚 .....	8
自転車博物館 サイクルセンター フィッシングカフェプロジェクト ライフ・クリエーション・スペースOVE (オーブ) その他の活動 (一部抜粋)	
利用環境の改善と保全 .....	12
シマノグリーンプラン 環境負荷低減への取り組み ヨシを通しての取り組み チームシマノの自転車通勤促進 その他の活動 (一部抜粋)	
信頼の構築 .....	18
こども達と学び考える 地域の一員として (一部抜粋) 安全で楽しい自転車利用をめざして	
2009年度 社会活動報告書を読んで .....	22
チームシマノ基本理念 .....	23

## 2009年度 社会活動報告書 発刊にあたって

人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。

この使命のもと、当社は、自転車部品、釣具の分野において、「こころ躍る製品」の提供を通じて社会に貢献していきたいと願っています。

昨今の先の見えない不安定な社会情勢の中、お届けする商品の魅力は勿論のこと、その商品を提供する企業そのものへの、ゆるぎない信頼が強く求められております。

当社は、自らが企業市民として果たすべき責任と役割をわきまえ、力量に見合った等身大の恩返しを、継続的に、粛々と、積み重ねていくことが、真に社会から信頼いただける行動であると考えています。

この考えのもと、今回お届けいたします2009年度の社会活動報告書では、当社の取り組む様々な活動を、昨年を引き続き、「継続」と「堅実」という2つのキーワードを基にご紹介すると共に、世界各国に広がるチームシマノの活動も、より広く、ご紹介させていただいています。

当社はおかげさまで2011年の3月に創業90周年を迎えます。これからも「継続」と「堅実」を基本に置き、当社ならではの活動を、「チームシマノ」としてグローバルに展開し、社会への貢献に注力して参る所存です。

この報告書が皆様に、当社を理解いただく一助となれば幸いです。



株式会社シマノ  
代表取締役社長

**島野容三**

# 企業価値の向上をめざして

——— ところ躍る製品を

私たちシマノの事業活動の基本は、「ところ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく、快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具に加え、ウェアやシューズをはじめとして、サイクリングやフィッシングの楽しさを拓げる用品をお届けすることでサイクリングライフ、フィッシングライフをより豊かなものにし、自転車文化・釣り文化を発展させたいと考えています。

## 自転車部門

### ■ ULTEGRAをフルモデルチェンジ

ロードスポーツの世界を大きく拓ける「ULTEGRA」のニューシリーズを発売しました。当社のフラッグシップモデル「DURA-ACE」の「HOLLOWGLIDE」(中空ギア)をはじめとする先進技術を採用入れた新世代のコンポーネンツです。



### ■ アスリートの活躍を支えるDURA-ACE

2009年シーズンから「DURA-ACE」7900シリーズがロードレース、トライアスロン、シクロクロスなど、あらゆるレースシーンにおいて、ライダーの勝利に貢献しています。レースだけでなく、大陸横断記録への挑戦まで、「DURA-ACE」はアスリートの活躍を支えます。



Guido Kunze氏(ドイツ)が「DURA-ACE」をはじめシマノ製品を搭載した自転車で43年ぶりにオーストラリア大陸南部横断記録を更新しました

## 釣具部門

### ■ ICASTで8年連続の受賞

アメリカの業者様・販売店様向け釣具展示会「ICAST」においてシマノのリールとロッドが8年連続の受賞をはたしました。



ベスト淡水リール賞  
「Stradic C14」



ベスト海水ロッド賞  
「Pro Green 882S」

### ■ EFTTEXでも3年連続の受賞

ヨーロッパの釣具見本市「EFTTEX」でも、3年連続で「ベスト・ニュー・スピニングリール」の栄冠をいただきました。



ベスト・ニュー・  
スピニングリール  
「STELLA SW」



## ボート事業

### ■ SRD(シマノ・ロウイング・ダイナミクス)誕生

自転車や釣りの世界で培った技術を生かし、ロウイング(ボート競技)の世界に漕ぎ出しました。「SRD」とは、自転車ペダルにビンディングシステムを採用し、快適性とペダリング効率を高めた「SPD」(シマノ・ペダリング・ダイナミクス)の技術をロウイング専用に応用した製品です。



踏面が回転運動することで効率を向上したフットストレッチャー(右上)と着脱が容易なボート競技用シューズ(右下)

※ 写真は  
プロタイプ



## シマノを支えるひとづくり

### 様々な研修

シマノでは組織を支えるひとづくりを世界中の拠点で進めています。チームシマノの公用語である英語を中心とした語学研修をはじめ、各自の技術を高めるものづくりに関する専門的な研修など、選択できる内容は多岐にわたります。これらの研修を通じて、日々の業務で役立つ思考法や、専門知識の取得をサポートしています。



シマノフランスでの英語研修  
海外拠点においても様々なサポートを実施

### 新入社員研修

#### ■ 経験・実践を重視

講義に加え経験・実践を重視したカリキュラムを行っています。



シマノ製品が生み出す楽しみを知る  
機会としての自転車実走・釣り体験



チームで行動する大切さを学ぶ  
チームビルディング



シマノの基盤である、ものづくりの  
現場を見学

#### ■ 全世界で理念を共有

通年採用を行っている海外拠点では、新たに加わったメンバーに対して、シマノの歴史や、企業理念を理解してもらう新入社員研修を行っています。チームシマノのメンバーは全世界で共通の理念のもと、考え、行動します。



シマノ上海での新入社員研修

### グローバルな視点の育成

#### ■ 目に見えない現場力の習得

SLD(シマノ・リーダーシップ・デベロップメント)プロジェクトの中で推薦を受けたメンバーを海外の販売店様へ長期派遣。販売店スタッフやメカニックとして、国ごとに異なるシマノ製品の販売・使用される現場に直接接する体験を通じて、広い視点で物事を捉える力を身につけます。

'01年スタート



#### ■ 海外研修生の受け入れ

本社はシマノ海外拠点から研修生を受け入れています。技術・知識の習得に加え、様々な部署でチームシマノの仕事とモノの流れを学ぶ研修を年2回開催。期間中、販売の現場に出向き、自国で担当していた製品が店頭に並ぶ様子を見学するなど、世界に広がるチームシマノの一員としての役割を自覚する機会も設けています。





## 内部統制の強化 '06年スタート

### ■ 財務報告に係る内部統制

「金融商品取引法」により、財務報告に係る内部統制を評価し、「内部統制報告書」を内閣総理大臣へ提出することが義務付けられました。これは「粉飾決算や財務報告の虚偽記載が起らない企業」であることを社外に向けて明らかにするものです。2007年から、内部統制およびその評価体制の構築に取り組み、2009年より本番運用を開始しました。



内部統制推進室  
和田伸之



### ■ 準備を積み重ね順調なスタート

評価に先立って、世界各地の主要拠点からメンバーを集めたグローバルミーティングを開催しました。進捗状況報告、評価スケジュールの調整などを行うとともに、シマノの体制に適した評価をセッティングし、滞りなく評価を実施することができました。2年に及ぶ周到な準備をして臨んだ結果、大きな不備もなく2010年3月には、内部統制が有効である旨の報告書を提出できる見通しです。



主要拠点それぞれの担当者が報告書の作成に取り組みました  
(写真はシマノクンシャン)

# 喜びの高揚

——人々に楽しみと喜びを提供する



自転車博物館 サイクルセンター

こころ躍る製品をお届けし、健康とよろこびに貢献することはチームシマノが掲げる会社の使命のひとつです。自転車・釣りの楽しさを広げるイベントの開催。プロレーサー・トッププレイヤーのパフォーマンスを観る機会や、新たに挑戦を始める方々が参加していただくための機会の提供。これら様々な取り組みを、グローバルに展開しています。



Shop-in-Shopレーシング(中国)



## ● 自転車博物館 サイクルセンター '92年スタート



自転車の発展史を学べる2階展示場。

シマノ本社と同じ堺市に、1992年に開館した自転車博物館 サイクルセンター(運営:財団法人シマノ・サイクル開発センター)。博物館を自転車の展示場所にとどめず、自転車のあるライフスタイル、実際に楽しむためのノウハウなどを提案・発信する拠点と位置づけ、様々な活動を行っています。

### 自転車散歩・健康サイクリング



自転車乗り方教室  
自転車が初めての方でも、1日で乗れるように丁寧に指導しています。



初心者から上級者まで楽しめる機会を提供しています。

'97年スタート

アクセス：JR阪和線「百舌鳥」駅から徒歩10分  
〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-2



身近な自転車を主題に、子ども達の観察眼や想像力が遺憾なく発揮された作品の数々。

### 「子ども絵画コンクール」の開催

自転車博物館開館以来、「夢の自転車」「人と自転車の生活風景」などのテーマで小学生の作品を募集。現在では応募数が30,000件を超える大規模なコンクールへ成長しました。

'92年スタート

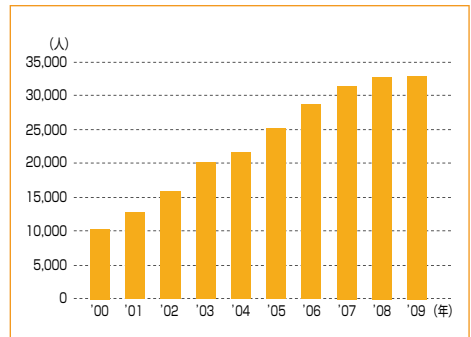


コンクール募集期間中は、写生目的の入館を無料にしています。館内には写生台も設置。



3階展示場には、過去の応募作品を壁一面にあしらっています。

### 「子ども絵画コンクール」応募者数



● **フィッシングカフェプロジェクト** '00年スタート



「釣りの魅力、楽しさ、奥深さを伝えたい」という思いで2000年にスタートしたフィッシングカフェプロジェクト。雑誌、CS番組、WEBなど、様々な媒体を通じて、「釣り」を文化的・社会的視点から紹介するシマノ独自の取り組みです。取り上げるテーマは文学や、美術・芸術、社会、教育、自然、環境など多岐にわたり、釣り人以外の方々にも奥深く、心に響く釣りの世界に触れていただくことをめざしています。

● **ライフ・クリエーション・スペース**<sup>オープン</sup> OVE '06年スタート



©Yusuke Torii

遊び心をくすぐる、数々の道具を取り揃えています。

OVEは、ゆったりと、豊かな自転車ライフを送っていただくため、新しい自転車文化の発信基地として、活動しています。

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線「表参道」駅 または「外苑前」駅から徒歩8分  
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8 トレディカーサ1階



©OVE

季節の移ろいや食文化に触れるよろこび、身近な建物や歴史を辿る楽しみ。OVE散走はテーマを持ってゆっくりと散策する自転車の新しい楽しみ方を提案しています。



健康・環境を意識した厳選の有機食材でつくられるカフェメニュー。

## その他の活動(一部抜粋)

### イベントの主催・協賛



世界各地で自転車や釣りのイベントを開催および協力しています。

#### ■ 自転車主催イベント



シマノショートトラック



シマノ鈴鹿ロードレース (日本)  
'84年スタート



北京ロードバイクフェスティバル (中国)  
'03年スタート



シマノショートトラック (ブラジル)  
'09年スタート



シマノバイクフェスティバル (日本)  
'91年スタート



南京MTBバイクフェスティバル (中国)  
'05年スタート

#### ■ 釣り主催イベント



中国瀋陽シマノ仙風杯



シマノジャパンカップ (日本)  
'84年スタート



中国瀋陽シマノ仙風杯へら釣大会 (中国)  
'02年スタート



シマノカップ韓国へら釣大会 (韓国)  
'08年スタート

#### ■ 自転車協賛イベント



シマノ鈴鹿ロードレース



Highland Fling  
MTBマラソンチャンピオンシップ (オーストラリア)  
'09年スタート



Great Australian Bike Ride  
ロードバイクイベント (オーストラリア)  
'09年スタート



Shop-in-Shopレーシング (中国)  
'03年スタート



ITU Long Distanceトライアスロン  
ワールドチャンピオンシップ (オーストラリア)  
'09年スタート

### UCIへの協賛・協力



UCI (国際自転車競技連合) にオフィシャルパートナーとして協賛し、世界の自転車競技、サイクルスポーツ文化を支援しています。 '99年スタート

### レーシングチーム



シマノレーシングはアジアのレース・選手を育て、スキル・シマノは各国の将来を囑望される選手をトップレベルのレースへ挑戦する機会をつくり夢を育てています。 '72年スタート

### シマノTV



新製品情報、釣りイベントの様、シマノ提供の釣り番組を無料配信する動画サイト。中国語サイトや、モバイルサイト開設により、多くの方々にご覧いただけるようになりました。 '07年スタート

### テクニカルサポートカーの派遣



トップレベルのプロレースだけでなく、幅広いサイクルスポーツイベントにサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。

### 自然公園内での自転車道の整備



シマノアメリカンおよびシマノカナダでは、自転車走行が自然に与える影響を抑えるために、科学研究データに基づいて、適切に整備された自転車道の有効性を検証する活動に協力しています。

### 水産資源の適切な利用



シマノアメリカンおよびシマノカナダでは、多くの漁業団体や政府代表と協働で、漁業管理政策の成立に取り組んでいます。科学的根拠に基づいた水産資源利用をめざした実用的な方策の作成に協力しています。



# 利用環境の改善と保全

——— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力



アウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドである地球環境を保全するためにたえざる努力を続けることは、チームシマノの基本的な命題です。

フィールドの清掃や環境改善活動へ積極的に参加するだけでなく、製品をつくる過程においても環境負荷を抑えるための技術改良・革新に日々取り組んでいます。





品質管理部 QIT課  
桑原一彰

人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献することもシマノの重要なミッションのひとつです。より環境負荷の少ない製品づくりをめざして常に見直しを図っているシマノグリーンプラン。2009年度には第7版を発行しました。

第7版の改訂内容は以下の通りです。

変更点	内容
対象範囲の追加	シマノグリーンプランを連結関連会社にも適用
禁止物質の追加	消費者製品安全性改善法(米国) REACH規則(EU)に伴う ・使用禁止物質の追加 ・最大許容値の変更
禁止用途の限定	・対象用途による分類
適用猶予項目と除外項目の明確な区別	使用禁止物質の一部を適用除外項目とする一方、 猶予項目の期限内における改善を推進



品質管理メンバーが、シマノ製品に禁止物質が使用されていないかをチェック。(シマノクンシャン)

これまで、シマノグリーンプラン(以下SGP)は、順守することで全世界に向けて安心して販売できるよう、常に法規制の動向を監視し、最低限の要求にシマノ自主基準を付加する形で管理してきました。しかし、年々変化する規制や、急速に高まる市場の関心・要求は、SGPより厳しいものとなっています。

第7版の改訂は主にシマノに関わるリスク低減を目的として、シマノは市場の要求に応じて購買・営業・設計など各関連部門への説明と的確な判断を投げかけて対応してきました。今後も市場の要求に沿った対応ができるよう、常に連携、人員体制の強化を図っていきます。

これからも安心してお使いいただける製品を提供できるように、SGPの管理を継続しながら、シマノ製品を支える協力会社の皆様と共にレベルアップのための取り組みを続けて参ります。



禁止物質の追加など改訂結果を、生産現場や、協力会社の皆様に周知徹底を図る説明会を開催。(シマノシンガポール)



海外各拠点からSGPメンバーが集まり、情報共有をするグローバル会議を開催。



## 環境負荷低減への取り組み

### 省エネ対策の本格化

2006年、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(以下、「省エネ法」)が改正・施行されました。それに伴い、製造工程におけるエネルギーの使用実態を調査し、その結果を基に2008年からは、省エネ法でいうエネルギー「熱」と「電気」に関する生産設備の改善を中心に取り組みました。

エネルギーロスの少ない設備の改善および新規導入などは比較的容易かもしれませんが、しかし、対策後の省エネ効果を確実なものにするためには、設備を扱うメンバーが省エネを正しく認識し、無駄のない運用を行うことが不可欠です。そこで、日々の業務の中で、無駄なエネルギー消費を抑える手順書「管理標準」を作成し、生産状況に合わせた効率的な運用管理ができるよう随時改善を行っています。

2007年より、製造部門を中心とした「省エネ部会」を発足。部会では、現場の意見を反映し活動の定着を図るため、3ヶ月毎の報告会で、改善内容と今後の課題・対策を議論するなど、たゆまぬ取り組みを行っています。その結果、本社の省エネ法に係る「原単位」の低減は、2009年度(シマノ年度)で、前年比2.5%改善、2006年度から2009年度における4年間の年平均低減は、4.1%改善しました。

今後は、エネルギーをさらに可視化(見える化)し、省エネ部会のみならず、間接部門も含めた全社展開を実施する予定です。具体的な情報を共有化することにより、CO<sub>2</sub>削減の啓蒙活動および取り組みを行い、「低炭素社会」の実現を進めていきます。

'06年スタート



オフィスだけでなく、工場のラインにもLEDライトを導入。(シマノクンシャン)



軽油の消費量を抑える高効率ボイラーと凝縮水のリサイクル機器を導入。(シマノクンシャン)



水銀灯の反射板を改善し、照明効率を向上。(シマノ下関)

### 周辺環境への対策

チームシマノメンバーおよび近隣住民の皆様のために、環境への影響を抑える対策にも取り組んでいます。



液状廃棄物の有害物質を取り除く特別な処理に取り組んだことで2004年からの5年間「Green Company」として昆山市環境局から表彰を受けました。(シマノクンシャン)

'97年スタート



工場の騒音をモニターするシステムを確立し騒音対策に取り組んでいます。(シマノクンシャン)

'99年スタート



代理店様に一括注文のご協力をしていただき、配送で発生するCO<sub>2</sub>の削減に取り組んでいます。(シマノヨーロッパ)

## ● ヨシを通しての取り組み

### 大和川ヨシ刈り



刈り取ることで新芽の成長が促されます。

地域を流れる大和川のヨシ刈りを毎年実施しています。2009年は93人のチームシマノメンバーが参加しました。ヨシは春に芽吹き、水中のリンなどの養分を吸収して成長する間、水をきれいにします。ヨシの水質浄化作用をより効果的なものにするために、冬になって枯れたヨシから

'04年スタート



### ヨシの有効利用

シマノが発行する一部冊子や名刺にもヨシの繊維を混ぜた用紙を使用しています。ヨシを植え付け、刈り取り、この紙を使用するサイクルをつくることで、環境負荷低減をめざしています。

(本冊子は琵琶湖のヨシを混抄したレイクパピルスを使用しています。)

### 環境教育への協力

地元の小学校の子ども達への環境教育に協力しています。学校近隣の河川にヨシの苗を植え付け、水質浄化効果を確認、刈り取り、そのヨシで紙を漉く。一連の体験を通じて、環境意識の醸成を手助けしています。



ヨシ苗の植え付け。



子ども達の背丈より成長し、  
枯れたヨシを刈り取り。



紙漉き体験では、ヨシのはがき  
をつくりました。

## チームシマノの自転車通勤促進



### BIKE TO WORK

シマノアメリカンでは全米で実施される自転車通勤週間にあわせ、「BIKE TO WORK」イベントで一層の自転車通勤をメンバーに呼びかけています。

'98年スタート



このイベントをきっかけに自転車通勤に取り入れるメンバーも増加。



### エコ通勤優良事業所認定を取得

シマノ本社は、自転車通勤推進の取り組みが環境負荷低減につながるとして、交通エコロジーモビリティ財団から、「エコ通勤優良事業所」として認定されました。本認定制度では、ただ自転車や公共交通機関の利用を推奨するだけでなく、会社独自の「エコ通勤プラン」が作成されていることが必要です。シマノではマイカー通勤によるCO<sub>2</sub>排出量を対前年度比で毎年1%ずつ減らすことを計画に盛り込んでいます。



自転車通勤手当など制度面でも自転車通勤を後押ししています。



空気入れや工具を設置した駐輪場や更衣室、シャワー室なども完備。

## その他の活動（一部抜粋）

- ライブリリースボートの提供**  プロ・アマ問わず、釣り大会におけるキャッチ&リリースをより確実にするための特別なボートや、計測システムをカナダで開催される大会に提供しました。  
'96年スタート
- 
- ゴミの分別収集**  ISO14001に準拠し1999年から実施しています。事業所、工場においてゴミを分別収集し、可能な限りリサイクルを行っています。 '99年スタート
- 
- 大和川清掃**  本社が所在する堺の方々とともに取り組んでいます。2009年はのべ327人のチームシマノメンバーが参加しました。 '01年スタート
- 
- ビーチ・クリーンナップ**   日本ではせんなん里海公園で、発生源からゴミを減らし海洋汚染を改善する「国際ビーチ・クリーンナップ・キャンペーン」に賛同し、清掃と同時に、ゴミの種類とその量を調査し、報告しています。 '03年スタート  
アメリカではカリフォルニア州ボルサ・チカ海岸での清掃活動にチームシマノメンバーが参加しています。 '03年スタート
- 
- 平和と環境を考える  
南ソウル大学への協力**  来日した南ソウル大学の学生達が行った、韓国から日本にどれだけのゴミが漂着しているかを調査する課外授業に協力しました。
- 
- シマノ・クリーンナップ・プロジェクト**  「愛すべき私たちのフィールドのためにできること」を合言葉に、釣り場をきれいにするプロジェクトを実施しています。シマノ主催のイベント参加者はもちろん、一般の皆様にも賛同いただき、ともに清掃活動に取り組んでいます。 '03年スタート  
WEB SITE : <http://shimano.asa-pri.net/>
- 
- アース・デー活動**  シマノクンシャンでは「地球を守り、人類を守る」を合言葉に、近隣の道路や植え込みのゴミ拾いを実施しています。 '06年スタート
- 
- 製品の修理・サポート**  シマノではひとつの製品を長くご愛用いただくことも環境負荷低減につながると考えています。そのため、補修パーツの流通や、販売店様向け修理・メンテナンス講習会の開催、そしてお客様相談窓口による対応など、長く快適にご使用いただくための体制をグローバルに拡げています。
- 
- 地域環境大賞**  シマノ本社が協力の、堺市立神石小学校の「地域とともに環境教育活動を展開」が、環境地域貢献賞を受賞しました。



ビーチ・クリーンナップ(アメリカ)



アース・デー活動(中国)



販売店様向けの修理・  
メンテナンス講習会(オランダ)

# 信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として参加し協働する



チームシマノメンバーが講師として協力するキャリア教育(日本)

地域社会とのコミュニケーションを行い、  
共存・共栄を考えて行動することは、チームシマノが  
企業市民として求める姿。  
拠点を置く地域社会の一員として、  
地域に恩返しする取り組みを積極的に行っています。



STAMP (スポーツ教育指導プログラム)への協力(シンガポール)

## ● こども達と学び考える

### 小学校でのキャリア教育

こども達が社会の一員として考え、生きるための力を身につける事を目的とするキャリア教育に、2005年から地域の小学校で講師を務めるなどの協力をしています。授業では自転車をテーマにした課題を与え、企画立案から提案まで取り組んでもらいます。問題解決の過程で、ものごとを論理的に考える力、判断材料を集める行動力、最良の解決策を決断する力や、協力して働く力を身につけます。

'05年スタート



課題の説明を受け、どこに問題があるのかを探るところから、「考える力」を育てます。



テーマの「自転車」に関する世界記録などを伝え、自転車が持つ可能性を見出してもらいます。



課題に対する提案のプレゼンテーションでは「伝える力」も必要。

### 2009年の実績

学校名	テーマ
堺市立八下西小学校	レンタサイクルを活かしたまちづくり
堺市立福泉東小学校	こんな自転車ほしかってん
堺市立白鷺小学校	
堺市立西陶器小学校	



最新自転車を教材に、用途にあわせた様々な工夫などを学びます。

## 地域の一員として（一部抜粋）

### 老人ホームへの寄付

重陽節に年長者を敬う古くからの習わしに従い、防寒具やヘルスケア用品などを寄付しました。



生活必需品や、成人用おむつなどを寄付しました。

'04年スタート



シマノシンガポール

### 地震被災者への寄付

シマノバタム



2009年のジャワ島地震・スマトラ島沖地震の被災者救済の寄付をし、赤十字社より表彰を受けました。

### 自転車のまちづくり支援

堺自転車のまちづくり・市民の会の開催するサイクリングマップの配布や、無料点検を行うイベント「さかい自転車デー」などの活動を支援しました。

'99年スタート



シマノ本社

### 児童養護施設への寄付

数箇所の児童養護施設を訪問し寄付を行いました。

'07年スタート



シマノバタム

### 募金箱の設置



シマノシンガポール

福祉団体 Loving Heart Multi Service Centerが行っている募金活動に協力し、20の部署に募金箱を設置しました。

### 地域病院への献血

チームシマノとしてグローバルに献血に協力しました。



シマノマレーシア



シマノバタム



シマノシンガポール



シマノクンシャン

## 安全で楽しい自転車利用をめざして

### ● ウィーラーズスクールへの講師派遣



ウィーラーズスクールとは、こどもの自転車の操作技術の向上、楽しく快適にサイクルスポーツを楽しめる環境整備、そして競技人口拡大と世界に通用するサイクリストの育成を目的とした教室です。この教室に、自転車のテクニックや交通マナーを指導する講師として、シマノレーシングのメンバーを派遣しています。スクールの活動を通じて、こども達が安全に自転車に乗るための技術向上とマナーの改善に協力しています。

'09年スタート



### ● サイクルアカデミーの開催



ポジションやペダリングなどをマンツーマンで確認。

老若男女、広く一般から参加を募り、サイクルスポーツの楽しさと、安全な走行をシマノレーシングの現役メンバーが指導します。

'05年スタート



### 🇸🇬 STAMP活動の協力

シマノシンガポールは、鉄鋼業労働組合と協働で、福祉団体 Loving Heart Multi Service Centerが行うSTAMP(スポーツ教育指導プログラム)活動の参加と、約250万円の寄付を行いました。地元Jurong地区の自転車に乗れない中学生に自転車の基礎知識、乗り方、交通ルールの指導を行い、自転車利用の活性化と安全の確保に協力しています。

'09年スタート

## 2009年度 社会活動報告書を読んで

今回の報告書は、経済社会が不確実な2009年において、価値創造の事業を「堅実」に「継続」していることを読者にわかりやすく、簡潔に伝えることに成功していると思う。近年、社会・環境報告のあり方が二分化している。ひとつは欧米の特定ガイドラインの型に嵌めたもの、他方は経営トップの理念と方針が共に明確に語られ、編集に反映されているものである。この報告書はまさに後者であり、グローバル・ビジネスとして語るべき多くのコンテンツを、受け手本位でプライオリティをつけてまとめている。内外の「チームシマノ」のスタッフ全員が誇りを持てる報告書と言えるだろう。



まず、事業の「継続」はCSR（企業社会責任）の重要な要件である。シマノのものづくりは常に需要サイドのユーザーのニーズと供給サイドのスタッフのテクノロジーやクラフトがコラボレーション（共創）することによって生み出されている。「こころ躍る製品」を市場や社会に提供できるのは堅実な努力の積み重ねであり、それが事業の継続を可能にしているのだろう。

本業での貢献について、自転車部門では「ULTEGRA」に先進技術を導入してフルモデルチェンジし、「DURA-ACE」はレースでの強みを増した。釣具では「ICAST」8年連続、「EFTTEX」3年連続で国際的栄冠に輝き、ブランド・ステータスを高めている。ボート事業では、新規の競技用ボート「SRD（シマノ・ロウイング・ダイナミクス）」を誕生させた。自転車部edalのピンディングシステムを応用して効率を高めている。シマノは独自の技術をさらに別のアウトドア・スポーツ分野の製品づくりに活用し、ユーザーに喜んでもらえる「絶対価値」づくりを追求している。他社比較や陣取り合戦的「相対価値」づくりのやり方ではない。エンド・ユーザーやレーサーが求めるものを追求し、彼らと対話しながら共創するプロセスが絶対価値を創造するのである。製品の価値づくりにはユーザーが「こころ躍る」ためのイベントなど体験価値の「場」を世界各地で提供していることも注目しなければならない。

環境負荷の少ない製品づくりをめざす「シマノグリーンプラン」は丸6年が過ぎ、第7版に改訂した。法規制よりも高いハードルを課していたが、市場の要求はさらに高まり、それに応えることにした。最低限の法規制によるよりも、顧客や市場の要求を優先することが将来の成長につながる。ただし取り組み中の省エネ3ヵ年計画は、導入した設備の列挙だけではなく、目標を明示してほしかった。

また自転車や公共交通機関の利用を推奨、エコ通勤プランを作成した。マイカー通勤比率で二酸化炭素排出削減を対前年比1%と数値目標を設定し、「エコ通勤優良事業所」に認定されたのは評価できる。これは環境面だけではなくスタッフの健康管理にも貢献することになるだろう。

内部統制報告が法的に義務づけられ、2007年から手掛けたシステムによって本年3月、内部統制が有効である旨の報告書を提出できるという。できれば今回、そのフレームワークやポイントだけでも掲載してあるとよかったのではないかな。

今回の報告書は全体として“人づくり”関連が特に印象に残った。グローバル社会でのチームシマノで活躍するスタッフへの国境を越えた研修や業務の紹介が随所にある。地域社会への貢献にも児童、生徒、学生など次世代の教育について、環境やウィーラーズスクールなど、体験を通して楽しみながら指導する方法はとても効果的だろう。“人づくり”は企業にとっても社会にとっても最重要課題といえる。

さて本年は生物多様性条約第10回締約国会議が日本において開催予定であり、環境省の「環境報告ガイドライン」にも関連項目が入り、2008年には「生物多様性基本法」が成立した。「人と自然のふれあい」を価値創造の原点としているシマノは、これまでの成果と貢献をさらに新たな課題として問いかけ、どのように事業を展開して社会との信頼関係構築を実現するか、創業90周年に向けての活動報告を期待したい。

## チームシマノ基本理念

シマノは、21の国と地域に生産拠点・販売拠点をおき、世界中でその事業活動を展開しています。

私たちは世界中のシマノ・スタッフをひとつにまとめ、「チームシマノ」として、共通の理念のもと、共通の目標と共通のプロセスで活動しています。

### 会社の使命

人と自然のふれあいの中で、  
新しい価値を創造し、  
健康とよろこびに貢献する。

#### [経営の方針]

- お客様に信頼され、満足していただけるサービスと製品を提供する。
- 企業価値を高め、開かれた経営を約束する。
- 達成感と、よろこびを分かち合える、公正でいきいきとした職場づくりに努める。
- 社会の一員として環境を大切に、共に繁栄することを目指す。

#### [チームシマノの行動指針]

- 豊かな創造性をはぐくみ、たえず自己を啓発する。
- つねに技術の向上に努め、夢の実現に挑戦する。
- 大きく発想し、機敏な行動で着実に実行する。

**SHIMANO**  
www.shimano.com

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

広報部 広報課

Phone: 072-223-3957

Fax : 072-223-6045

この冊子は「レイクパビルス」(葦混抄紙)を使用しています。

琵琶湖の「西の湖」に群生するヨシは、春から冬に枯れるまでの間、湖の水をきれいになります。

枯れて朽ちる前に、毎年刈り取る必要のあるヨシをリサイクルしてできたのが「レイクパビルス」で、この冊子1冊につき琵琶湖の水、約1,080ℓの水が浄化されたこととなります。

2010年3月25日発行 ©2010 by Shimano Inc. Printed in Japan XBC IZM K-006